

会社概要

名称	株式会社 公園マネジメント研究所
所在地	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-2-22 NSビル6F
設立	2007年12月7日
資本金	1,000万円
役員	代表取締役／恵谷 真 取締役／小栗 大介 取締役／浦崎 真一
有資格者数	技術士3人、公園管理運営士5人

沿革

2007年12月7日	設立 代表 糸谷正俊 所長 小野隆
2010年4月	糸谷が相談役に、小野隆が代表取締役所長に就任
2011年6月	増資及びEBOを実行、事務所拡張
2012年7月	糸谷が取締役を退任。恵谷が取締役に就任
2015年7月	小栗が取締役に就任
2023年9月	小野が代表取締役を退任し相談役に、 恵谷が代表取締役に、浦崎が取締役に就任

おもな 受賞歴

2022	第2回 Sport in Life アワード優秀賞 『お昼休み☆20分ゆるゆるストレッチ』
2023	佐藤国際交流賞
2023	令和5年度第39回都市公園等コンクール 国土交通大臣賞(設計部門) 『東遊園地再整備』(共同受賞)
2023	2023年ランドスケープコンサルタンツ協会賞 設計部門 最優秀賞 『東遊園地再整備』(共同受賞)
2023	グッドデザイン賞ベスト100 『東遊園地再整備』(共同受賞)
2024	World Urban Parks 優秀個人賞

MESSAGE

公園を上手に使えば、人と社会はもっと豊かになる

私たちはこの想いのもとに、2007年の創業から20年近くにわたり、公園・緑地のマネジメントにかかわる調査研究や計画立案、政策提案、ツール開発に取り組んできました。

公園・緑地は、都市にとって必要不可欠な資源であり、この存在そのものが都市環境の質を高め、災害に強く、持続可能なまちづくりに役立つことは間違いありません。しかしそれゆえに、とにかく「公園をつくれれば良い」「緑地があれば良い」というようにも捉えられがちです。

本当に大事なことは、公園・緑地を都市政策の根幹に置き、すべての市民が公園・緑地を自由に使いこなし、緑や水、そして人と触れ合うことで、公園・緑地の価値を最大限に受け取れるようにすることです。

私たちはこれからも、「公園の価値」を通して人と社会に豊かさを届けるために、多様な市民・団体の皆様、自治体、公園・緑地にかかわる民間企業など、多くの方々のサポートや事業にかかわるコンサルティングに努めてまいります。



株式会社
公園マネジメント研究所
代表取締役
恵谷 真

公園は、なぜあるのか？

都市公園を「社会装置」として捉えてみると、単なる物理的な空間以上の役割を果たしていることが見えてきます。そのひとつが、社会的な相互作用を生み出し促進する、「媒体」「触媒」としての機能です。言い換えれば、公園に集う利用者そのものが「資源」であり、そこから公園が「生産」するものは、市民の社会的な活動やつながりであると言えます。

進化心理学的な視点から見ると、公園は「自然環境への親和性」「集団活動の強化」「安全で快適な環境選好」「探索行動の機会」など、人間の進化の過程で培われた行動や心理を満たす場所として機能します。これらの要素が組み合わさることで、公園は人々にとって魅力的な場所となり、自ずと社会的活動を誘発するのです。

人類は、自然環境と親しみ、社会的な交流を大切にすることで生存の可能性を高め、繁栄を遂げてきました。公園は、私たち人間が長い歴史の中で向き合ってきた進化的なニーズを満たす場として、これからも機能し続けていくと考えられます。



株式会社
公園マネジメント研究所
相談役
小野 隆